

新年度予算 多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長:中原誠悟、副委員長:平嶋慶二)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月13日から20日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、防災対策、庁舎整備、地域おこし協力隊、ごみ減量、放課後児童健全育成事業、病児・病後児保育事業、不登校、動物園に関する事など、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月24日の本会議において全ての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和5年度における各会計の予算は以下のとおりで、一般会計予算の総額は611億2,000万円となりました。

令和5年度各会計予算の概要(1万円未満四捨五入)

区 分	予 算 額	対前年度当初比	
一般会計	611億2,000万円	2.0%	
特 別 会 計	国民健康保険	143億1,172万円	△0.2%
	介護保険	134億5,778万円	0.7%
	後期高齢者医療	22億3,496万円	5.1%
	病院事業債管理	12億1,222万円	32.1%
	水道事業	※1 38億7,621万円	△8.5%
	公共下水道事業	※2 77億1,096万円	5.9%

※1 収益的支出 25億1,709万円
資本的支出 13億5,912万円

※2 収益的支出 37億1,281万円
資本的支出 39億9,815万円

予算特別委員会の主な意見・要望

◆災害対策本部機能強化事業

防災リアルタイム情報の改修により外国語表記や絵文字などの分かりやすいものを使用するとともに、外国人向けの研修や避難訓練なども行いながら、取組を推進してほしい。

◆職員の健康

メンタルヘルスを含めた長期療養者も多く見られることから、十分な対策とフォロー体制の充実強化を図るとともに、職員配置適正化方針においても職員の心身の健康に配慮してほしい。

◆歯科疾患予防

幼少期からフッ化物洗口に取り組むことにより、健康で強い歯づくりや将来の医療費の抑制につながることから、歯科医師会や教育委員会と連携し、周知を行うとともに、学校での実践も検討してほしい。

◆動物園

キリン舎等の増設といった施設整備だけではなく、タヌキ等の野性動物、乳牛・豚等の家畜の飼育や園内への遊覧馬車の導入など、体験ふれあい型・教育型の動物園を目指してほしい。

◆病児・病後児保育事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、現在の委託先だけでは多様なニーズに応えきれないことから、早急なニーズ調査を行い、施設の増設を検討してほしい。

◆夏休み児童預かりモデル事業

待機児童ゼロを目指す一連の取組として、モデル事業によって見えた課題を整理し、全校区での実施が可能となるよう努めてほしい。